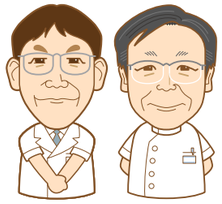
スーパードクター meet 子育て

season 02

川崎医科大学附属
川崎病院
Kawasaki Super Doctors #13



小児科 中野教授とお伝えする

役立つ子育て情報!

小児科のスーパードクター・中野先生が、子どもの健康管理や病気にまつわる知識、子育て情報を紹介。パパ・ママの不安や悩みを解消します。

スーパードクター
小児科／中野 貴司 教授
専門領域 小児科、感染症、予防接種、国際保健

専門医・指導医
日本小児科学会専門医／日本感染症学会専門医・指導医／ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター（ICD）／国際渡航医学会 渡航医学専門医／臨床研修指導医

右から2人目が植村教授

今回のテーマ 子どもの手術と小児外科

小児科の受診歴はあっても、小児外科となるとどんな時にかかればいいのかわからない、というママも多いのではないでしょうか。今回は小児外科の植村先生をお招きして、詳しく教えていただきました。

今回のアドバイザー
小児外科／植村（うえむら） 貞繁（さだしげ） 教授
■専門医・指導医 日本小児外科学会専門医・指導医／日本外科学会専門医・指導医
■専門領域 新生児外科／小児泌尿器外科／小児呼吸器外科／漏斗胸手術／ヒルシュスプルング病／排便障害

子どもの外科手術・治療を専門に行う小児外科

植村教授 皆さんは「小児外科」がどんなことを行なっているかご存知ですか。

宇治郷ママ 小児科には診てもらうことがありますが、小児外科では診てもらったことはないです。

植村教授 「小児」とは一般的に0歳から15歳までの子どものことで、「外科」とは主に手術を行なう診療科と捉えていただければと思います。大人の「外科」と分けられているのは、小児特有の発達などが関わっている可能性があるため、より特化した治療を行なうためです。小児科を受診されても多くの場合は手術にまで至らないので、詳しくご存知ない方が多いのだと思います。ただ、生まれてくる子どもの100人のうち5人くらいは、何かしら大きな疾患を抱えており、手術が必要とされます。

宇治郷ママ・陽菜乃ちゃん（0歳）

久本ママ 子どもに手術を受けさせるとなると、心配が多いのですが。

植村教授 最近は、患者さんへの負担が少ない腹腔鏡を使うことが多いです。大きな傷跡を残すことなく治療が行なえるメリットがあります。一方、腹腔鏡の手術では医師に高度な技術が求められます。

今回お集まりいただいたのは、0歳から5歳のお子さんをお持ちのママたち。普段では聞くことのない子どもの手術について、お話をうかがいました。

植村先生は「手術により命が助かる、体の機能や健康を取り戻せる子どもたちが長い一生を問題なく生きていけるように治療していきたい」という思いで、数多く腹腔鏡での手術などに取り組まれている。

1歳から小学校入学前の男児に多い鼠径（そけい）ヘルニア（＝脱腸）

植村教授 小児外科で症例が多いのが鼠径ヘルニア、いわゆる脱腸と呼ばれるものです。腹壁に穴が空いていて、そこから腸が飛び出してしまうのですが、小児では珍しい病気ではありません。

久本ママ 健診でわかりますか？

植村教授 具体的には股の外側にぽっこりと膨らみが出てきますが、症状には個人差があります。また常に膨らんだ状態だと見つけやすいのですが、泣いたりしてお腹に力がかかったときだけ膨らむ場合があり、健診時にわからないことがあります。

痛みを訴えないこともあるので、パパ・ママが入浴時などに見てあげると良いでしょう。異変を感じたら医療機関を受診しましょう。

久本ママ・勘太くん（5歳）
蘭太くん（2歳）

奥野ママ 治療には手術が必要なのでしょうか？

植村教授 腹腔鏡を使って患部の穴を塞ぐ手術ですが、二泊三日程度の入院で治療ができます。

気をつけておきたい急性虫垂炎（＝盲腸）

植村教授 小児外科では盲腸の手術も手がけています。小・中学生になって発症する方が多い病気ですが、これは虫垂という細い腸の内腔が塞がることで起きます。腹痛が主な症状ですが、その前に、吐き気・嘔吐が見られます。

奥野ママ 以前に比べて周りで「盲腸の手術をした」、という人が少なくなったように思いますが。

植村教授 超音波による検査で詳しい診断がつくようになり、腹腔鏡による手術か、症状が軽い場合は抗生物質での治療か、選択が明確になったことが要因です。盲腸は珍しくない病気ですが、重症化することもあるので、吐き気を伴う右下腹部の痛みは、早急に精密な検査を受けられることをおすすめします。

奥野ママ・旬くん（3歳）

小児科と小児外科の連携体制が整っている当院では、手術が必要になった際でも万全のサポートで治療に当たります。

スーパードクター&アドバイザーに直接質問したいパパ・ママ募集! 詳しくはメール（✉planning@hughug.co.jp）にてお問い合わせください。

川崎医科大学総合医療センター
平成28年12月1日 新築移転 開院
※現在地の南東約50m

KAWASAKI NEWS

8月末に建物が完成。
12月1日の開院に向けて準備が進んでいます。

webサイトにて情報を公開しています!
■診療科一覧 ■階構成 ■内観写真 ■アクセス等
ぜひご覧ください!
ホームページ（下記URL）からご覧いただけます。

川崎医科大学附属川崎病院 〒700-8505 岡山市北区中山下2-1-80 TEL.(086)225-2111
http://www.kawasaki-m.ac.jp/kawasakihp/